

講義科目 : カウンセリング論	単位数 : 2
担当 : 小笠原 昭彦	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

・ カウンセリングに必要な知識およびカウンセリングの基礎的な理論と技法について、心理学や臨床心理学に基づいて講義を行います。また、傾聴についての演習、カウンセリングについての事例DVDの視聴を通して基礎的な技法が習得できるようにします。

・ 到達目標は、①カウンセリングの意義、②カウンセリングに必要な発達の視点及び心理的健康と不適応、③カウンセリングに必要なアセスメント、④カウンセリングの理論と技法、⑤カウンセリングの重要な概念、⑥カウンセリングの基本的技法について理解することです。

・ 自己理解や傾聴に関する演習を通して、自分自身についても理解してください。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、自己理解に関する演習（社会的スキル）
- 第2回 カウンセリングとは何か
- 第3回 心理的不適応の諸問題
- 第4回 発達と心理的問題（発達課題、発達段階と心理的問題）
- 第5回 カウンセリングにおけるアセスメント①：アセスメントの基本、面接
- 第6回 カウンセリングにおけるアセスメント②：観察、非言語的コミュニケーション
- 第7回 カウンセリングの理論と技法①：個人へのアプローチ
- 第8回 カウンセリングの理論と技法②：家族、集団、地域へのアプローチ
- 第9回 カウンセリングの重要な概念
- 第10回 カウンセリングの基本的技法（DVD視聴による学習）
- 第11回 傾聴についての演習 * 次回の授業でレポートを提出
- 第12回 カウンセリングの技法①：基本的な関わり技法、基本的傾聴技法
- 第13回 カウンセリングの技法②：感情の反映、意味の反映、明確化、面接の構造化
- 第14回 カウンセリングの技法③：DVD再視聴による技法の確認
- 第15回 社会におけるカウンセリングと心理の資格、まとめ

教材・テキスト・参考文献等

・ 印刷資料を配付し、パワーポイントを用いて授業を行います。参考文献はその都度紹介します。事例、具体例も適宜取り入れます。

成績評価方法

・ 定期試験（80％）と傾聴演習（第11回に予定）のレポート（20％）によって評価します。定期試験では、基本的な概念、知識および基礎的な理論の理解を問う内容を出題する。配付資料等は参照不可。

・ 毎回出席を取ります。ただし、出席状況は成績には反映しません。6回以上の欠席は評価の対象外です。

その他

・ 出席票に質問、感想などを書いてください。その回答、補足説明は、次の授業の冒頭で行います。